（様式1）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 007	**提案機関名**	農業振興課

要望問題名

茶樹における放射性セシウムの動態解明と対策技術の開発

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

福島第一原発事故に起因すると考えられる放射性セシウムが、足柄茶産地の茶葉から暫定規制値を上回って検出された。

茶樹や土壌における放射性セシウムの動態に関する知見はほとんどないため、今後、茶葉中の放射性セシウムを減らし、足柄茶の産地を維持し、県民へ安全な足柄茶を提供するため、この動態を解明し、放射性セシウムの低減技術の開発をお願いしたい。

解決希望年限	①1年以内　[②2～3年以内]　③4～5年以内　④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	[①農業技術センター]　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	北相地区事務所研究課

対応区分	①実施 [②実施中] ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名 （①、②、④の場合）

1．茶園における放射性セシウムの動態解明と対策技術の開発

（1）茶樹における放射性セシウムの動態解明

対応の内容等

研究内容として、以下の課題を実施しています。

① 樹体部位別の放射性セシウムの量的解析

② 安定同位体セシウムを用いた茶樹体内におけるセシウムの移行経路の解明

③ 被ばく茶樹における摘採時期別の放射性セシウム濃度の経時変化の把握

これらの結果から、茶樹体内における放射性セシウムの動態や茶葉に蓄積された放射性セシウムの経時変化を明らかにすることにより、放射性セシウムの低減技術を開発します。

解決予定年限	①1年以内 [②2～3年以内] ③4～5年以内 ④5～10年以内
備　考	